日向市広報

本紙は各戸配布です

発行所　宮崎県 日向市役所
発行人　日向市長 三尾良次郎
編集人　市長室広報係
印刷所　安藤印刷所
（1部3円）

31年度決算 黒字三百六十四万円の見込

―但し地財建債の融資補塡で―

昭和三十一年度の決算書ができあがり、来たる二十日頃予定されている市議会に上程承認をうけることになつておりますが、これによりますと三百六十四万二千四百六十三円の黒字ということになつています。

即ち才入二億一千六百四十五万八千三百円に対して二億一千二百八十一万五千八百三十七円の才出となつております。

昭和二十六年度以来、黒字決算のなかつた当市としては、帳簿上この黒字を六年ぶりで見た訳ですがしかしこれは赤字財政の当市が地方財政再建の適用をうけて、昭和二十九年度の赤字三千一百万円を昨年政府の融資で、一応赤字を埋めて解消しているためでこれによつて三十一年度において黒字を見ることが出来た訳です。

従つて市として実質的に純粋の黒字ということは厳密な意味では云えないかと思いますが、ともかく三十一年度の才入才出において黒字決算をすることが出来ることとは明るい気持になるといえましよう。

この黒字を出すには支出を節約抑制した結果でありますが事業は計画の予算通り実施しております。そして、人件費、物件費の面で抑制節約を行いまた、失対事業国庫補助金の返納その他の補助金の返納金七十万五千円などが黒字の原因となつています。しかしこの補助金の返納は本年度において返納せねばならない金額ですからこの分は黒字の金額とふくらませていることは御承知ねがいたいと思います。

次に決算書の内容を申しますと別表のようになつております。

消防望楼竣工

富高原町にある、市消防本部裏に、こんど消防望楼ができました。

で、高さ三十メートル、総工費は六十八万円。当分は火災の確認に使われますに楼上で見張りをすることになりましよう。

東は細島全部、工場造成地帯はすぐ眼の下に見え、西は塩見が全部、南は平岩まで、北は門川海岸と庄手まサイレンもこの楼上に移すことになつており、この際五馬力の大きいのに替えて市街地全体によく聴えるようにしたい計画です。

なお附近の子供たちが珍らしがつて登つて遊ぶようですが、危ないからお母さん方の御注意をおねがいします、と消防本部では言つております。

駅前に市営観光案内所

―電話、電報も扱う―

富高駅前にある電話、電報サービス・ステーションは九月から市営で日向市観光案内所として運営することになりました。

市内、市外電話、電報の市内、旅館案内その他の案内、ゆくゆくは自転車や荷物一時預りなどサービス面を拡げていくことになつております。場所も人々の目に付く場所にしたい計画で

昭和31年度 日向市一般会計歳入歳出決算

歳入			歳出		
第1款	市税	66.930.161円	第1款	議会費	4.715.823円
第2款	地方交付税	36.889.000	第2款	市役所費	33.402.608
第3款	公益企業及財産収入	12.937.609	第3款	消防費	4.352.833
第4款	分担金及負担金	934.722	第4款	土木費	28.950.055
第5款	夫役及現品	0	第5款	教育費	48.906.540
第6款	使用料及手数料	3.784.836	第6款	社会及び労働施設費	22.206.325
第7款	国庫支出金	39.002.320	第7款	保健衛生費	8.713.673
第8款	県支出金	2.506.165	第8款	産業経済費	7.908.042
第9款	寄附金	0	第9款	財産費	4.605.882
第10款	繰入金	0	第10款	統計調査費	69.790
第11款	繰越金	0	第11款	選挙費	1.045.519
第12款	雑収入	4.973.487	第12款	公債費	16.910.782
第13款	市債	48.500.000	第13款	諸支出金	31.027.965
			第14款	予備費	
歳入合計		216.458.300円	歳出合計		212.815.837円

現住人口表

（8月末日現在）

男　19,483人（+10）
女　20,157人（+21）
計　39,640人（+31）

世帯総数
8,189世帯　（+3）

日向時間追放

これからは、青年や婦人の集会が多くなります。どんな会合でも、出席の時刻は守つておくれないようしましよう。時間を守ることは、新生活運動の第一歩です。

市長からのおたより

三尾良次郎

台風七号も大した被害を与えることなく通過してくれましたが、愈々これからは台風の季節に入り、第十号とやらもまだ遙か南の方ではありますが徐ろに本土に近づきつゝある訳です。宗教というものは喰べ物と同じ事で実際に自ら喰べて見ねば分るものではありません。人の噂を聞いて批判したり、恐れたりするのは誤りでありますが、唯歴史的に見て、一つの宗教が起り、拡がつて行くには必ずその時代の社会に斯くなるべき素地があるということは言えましよう。若し創価学会の折伏拡大が世に伝えられるようなものであるなら、今日の社会に於ける民主々義の行き過ぎや労働争議の行き過ぎなどがその大きな誘発原因の一つになつているのではありますまいか。

幡浦の土地が、公共埠頭の造成に必要となり、県有地と交換することがきまり、その県有地を相当高価に売却する見込がついた所から、幡浦の土地所有者を多少羨望の気持で眺める向きもあるようです。こうしたことが話題になると、兎角大袈裟に吹聴されたり、とんでもない誤解が生じたりするものですが、工場誘致が原因になつて、土地の値段が騰つたことは疑いもない事実であります。しかしこれは何も幡浦の土地所有者を羨やむ必要はないのであつて、日向市の土地所有者は多少の差はあるにしても、工場誘置を原因として、知らぬ間に皆その所有地の値上りをみているのです。実は土地ばかりでなく、家も労働力も企業力も皆値上りするのであつて、幡浦の土地所有者が僅かに数カ月早かつたに過ぎないのです。

これは日向市民ばかりでなく、門川町民も同様であります。今にして考えますと、現在の臨海工業地帯は、東洋紡績と志村化工の二工場で一ぱいになり、もう今から門川海岸を埋立てる大工事を考えねば駄目になつております。人の災難は自分の災難、他人の幸福は廻り廻つて結局自分の幸福になる。これが人間社会の運命でありましよう。

（九月一日記す）

毎号連載予定

幡浦の土地問題でありましよう。創価学会のことは、日向市ばかりでなく、日本全国の評判になつているようですが、日向市では財光寺定善寺の大石寺飯一式が八月三十日に催された機会に、創価学会の折伏隊が活動を始めるというので、特に話題になつている訳です。宗教というものは喰べ物と同じ事で実際に自ら喰べて見ねば分るものではありません。人の噂を聞いて批判したり、恐れたりするのは誤りでありますが、唯歴史的に見て、一つの宗教が起り、拡がつて行くには必ずその時代の社会に斯くなるべき素地があるということは言えましよう。若し創価学会の折伏拡大が世に伝えられるようなものであるなら、今日の社会に於ける民主々義の行き過ぎや労働争議の行き過ぎなどがその大きな誘発原因の一つになつているのではありますまいか。

幡浦の土地が、公共埠頭の造成に必要となり、県有地と交換することがきまり、その県有地を相当高価に売却する見込がついた所から、幡浦の土地所有者を多少羨望の気持で眺める向きもあるようです。こうしたことが話題になると、兎角大袈裟に吹聴されたり、とんでもない誤解が生じたりするものですが、工場誘致が原因になつて、土地の値段が騰つたことは疑いもない事実であります。しかしこれは何も幡浦の土地所有者を羨やむ必要はないのであつて、日向市の土地所有者は多少の差はあるにしても、工場誘置を原因として、知らぬ間に皆その所有地の値上りをみているのです。実は土地ばかりでなく、家も労働力も企業力も皆値上りするのであつて、幡浦の土地所有者が僅かに数カ月早かつたに過ぎないのです。

これは日向市民ばかりでなく、門川町民も同様であります。今にして考えますと、現在の臨海工業地帯は、東洋紡績と志村化工の二工場で一ぱいになり、もう今から門川海岸を埋立てる大工事を考えねば駄目になつております。人の災難は自分の災難、他人の幸福は廻り廻つて結局自分の幸福になる。これが人間社会の運命でありましよう。

（九月一日記す）

毎号連載予定

十五夜祭近づく

日向市商工水産祭開催

十月七・八・九の三日間

日向市の十五夜祭は、市内では最も大きな祭りですがお祭りの神事は、富高八幡神社のお浜行でありまして、この「お浜行」をお迎えする行事が「十五夜祭」であるといわれています。

毎年旧暦八月十五日を中心に行われるのですが、今年は閏年で、二回八月十五日があるため、関係者協議の結果台風期を遠ざかる意味からも、後の十五夜に決定新暦の十月七、八、九日の三日間ときめられました。

例年の行事である屋台や造り物の余興が行われる他、今年は市主催の日向市商工水産祭を協賛開催することとなりました。

例年十二月に日向市産業振興祭を行い、その中に、商工水産部を設けておりましたが、時期的に遅きにすぎる点と、会場の広さの関係などから、これを別個にし、十五夜祭当日に開催することに、今年からきめられた訳です。

後援は日向商工会議所、日向市商店会、市内の四漁業協同組合となつており、会場は商工部、水産部、観光協会の写真展、市内小中学校児童生徒の図画、習字などの作品展も開かれる予定です。

商工水産祭には、皆様から振つて出品していただきたく、出品なさる方は、市役所商工水産課内同会事務所に詳しいことはお問合せ下さるようお願いします。

また日本報道写真連盟日向支部の写真展、煙草専売局主催の写真展、市内小中学校児童生徒の図画、習字などの作品展も開かれる予定です。

市税調査員が お宅を廻ります

先日回覧文書を発送して、市民の皆様方へ周知方をお願いしておきましたが来年度（三十二年度）は固定資産評価の「基準年度」と申しまして、土地の地目の変換とか、家屋の増改築等のように、課税物件に特別な変化がない限り、評価額は来年度の額がそのまゝ三年間据置となることになつています。

従つて、来年の二月末迄に、市内全区の土地家屋の再調査再評価を行うことになりました。八月の下旬頃から家屋調査を始めて、只今美々津地区の調査を行つております。

調査に当つては出来得る限り皆さんに御迷惑のかゝらないように充分注意しておりますが、調査の正確を期するため調査員が家屋の内外を詳しく調べさせて戴くことも多いと思います。又調査員がいろいろとお尋ねすることがあります。特に所有者の住所氏名や建築年月日等、正確に答えて戴きますようお願いします。

調査に当りましては建物の部分々々について誤りのないよう、細心の注意を払つていますが、眼に付きにくい破損部分等は、調査員に申し出て戴く等一戸々々に円滑に調査が出来ますよう皆様方の御協力をお願い申し上げます。

土地の調査も九月中旬頃から始めるよう準備を進めております。

調査員は必らず「市税調査員章」を携行しておりますので、御不審の場合は、遠慮なく「調査員章」の呈示を求めて下さい。

育成馬牛品評会

昭和三十二年度の品評会は九月十日市営家畜市場で開かれました。結果の主なものは次のとおりでした。

【育成牛】優等＝まつえ号 長曽我部武（西川内）
一等＝木田岡右エ門（中野）
奈須利刀（奥野）、甲斐幸次郎（秋留）

【育成馬】一等＝河野喜市（松原）
【仔馬】一等＝黒木定男（庄手）

引揚者給付事務分室十二月まで設置

市民課では引揚者給付金等請求事務の受付のため分室を設けておりましたが八月まで設ける予定を十二月末まで延期しました。

なおこの期間が済んでも明年三月末までは、市民課で従来通り受付は続けて行うので、誤解ないようお願いします。

市役所人事

（会計課）指原芳子
願により本職を免ずる
八月五日付

（税務課）小出義隆
（土木課）黒木博道
（幸脇出張所）小林
願により本職を免ずる
八月三十一日付

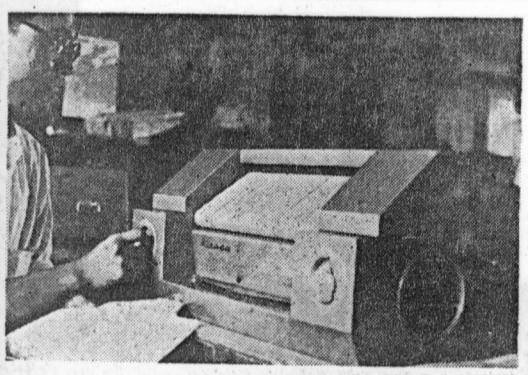
陸上自衛隊員募集

防衛庁では、陸、海、空幹部候補生と陸上自衛隊陸曹を募集しています。受付は九月三十日まで。志願について詳しくは市所総務課の係をおたずねください。

謄本抄本をすぐ写す

戸籍複写機「リコピー」購入

引揚者や遺族関係で最近戸籍の謄本、抄本の申込みが急激に多くなり、窓口事務がおそくなつてはならないというので、こんど複写機「リコピー」を購入しました。



購入した「リコピー」

積した申込みを一掃しています、この機械で写すと、一枚が四十秒位で出来あがるので、あまりつけない間に早くでき、窓口で市民の方々に長く待つて貰うようなことはなくなります、戸籍係では云つております。今のところ写したものを見ると、原本が汚ないと、そのまゝ、汚なく写るのが、研究問題のようです。

なめてはならぬ台風

まだシーズンです

ことしは幸いに、第五号、第七号も、また進路に当つた第十号も、思つたよりも大した被害も与えず通過しました。

しかし、いつもこんな調子だと甘くなめてはいけないと思います。もうこれで今年は終りだ、というようなことも云う人がありますがまだまだ台風の季節ですから、充分に御注意ねがいます。

今年の台風によつて、当市でうけた被害は、日向市災害対策本部で集計した概算によりますと、次のようになつております。

第七号では、金額にして約二千六百万円となつております。その主なものは農作物で二千三百万円、その他は土木関係（橋、道路）農業土木関係（護岸など）であります。

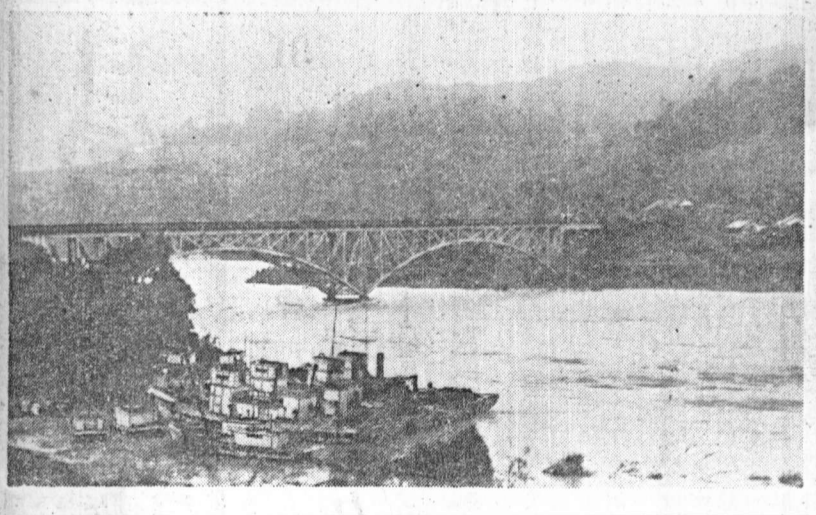
第十号では、被害総害は六千八百万円となつておりまして、その主なものは第七号と同じく農作物で、約五千九百万円となつております。その他道路、橋梁で百十五万円、堤塘、水路などの被害は五百万円となつております。倒れた家は三戸でした。水が氾濫した田畑の面積は約四百五十町歩となつております。小学校では、校地の崩土が七十五万円、校舎小破僅かがありました。

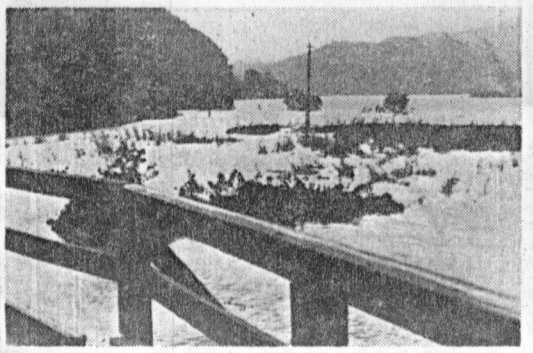
まだ台風の季節ですから、次のことは怠らぬよう考えておきましょう。

◇台風が近づいたら建物や敷地のまわりの排水をよくしておきましょう。

◇飲み水、応急食糧、現金預金通帳、印かん、マッチ、ローソク、懐中電灯、着がえ、薬品類を非常袋に入れて万一の場合に備えましょう。

◇台風のあと、井戸水が濁つたら、すき通るまでくみ出し、湯のみ茶わん二、三杯のサラシ粉を布に包んで洗面器一杯の水にとかし、その上水を井戸に入れて消毒しましょう。





【写真説明】
台風第7号による
（左）パッチ網漁業船、田圃に登る。（美々津橋上附近）
（右）飯谷部落の田畑、耳川増水で冠水。

いたわりましょう としよりを

九月十五日は昭和二十六年から定められた「としよりの日」です。長い人生航路を乗り切つて、長寿を保たれた方々に敬意を払い、お慰めする気持をもつために、この日が設けられております。

年とともに、楽しみも少なくなりがちなお宅のおじいさん、おばあさんに、特にこの日には、何か喜んで貰えるようなことをいたしましょう。

市では九十才以上の高令者の方々をお訪ねして、長寿のお喜びを申上げ、記念品を贈ることになつています。市内ではこれらの方々は十八名です。

○黒木惣次郎（95）美々津高松○鈴木ベン（95）塩見奥野○黒木シケ（94）堀一方○黒木仁吉（93）往還○児玉イケ（93）細島八幡○石崎リツ（92）亀崎○永友ヨシ（92）曽根○児玉宇太郎（92）細島伊勢○和田リツ（92）梶木○児玉治助（92）平岩本宮○赤木イソ（91）財光寺松栄○兵頭コスミ（91）上町一区○黒木嘉エ門（91）高新中原○青木トミ（91）富尾○赤木カネ（91）霧島○三尾良助（90）曽根○上田六助（90）亀崎○是則フキ（90）余瀬

松尾市議急逝

市議会議員松尾清氏（細島清正区）は八月三十日午后零時三十分自宅にて急逝されました。謹んで弔意を表する次第であります。

同氏は昭和二十六年五月、日向市制施行と同時に市会議員に当選され、昭和三十年五月再選、総務委員会副委員長、懲罰委員、建設委員運営協議会会員をつとめ、また日向市消防団の副団長もつとめられました。享年五十三才。告別式は九月一日、細島観音寺で盛大に行われました。

公明選挙は

日頃からの「話し合い」で

選挙は公正明朗にやらねばならぬということは、選挙の時だけの運動では、徹底しないので本年公明選挙常時啓発事業要綱が公布され、全国的国民運動として展開されておりますが市選挙管理委員会でも、常時啓発（話しあい）助言者養成講習会を開いて、九月二日富島、三日岩脇四日は美々津の各区でその地区の助言者になつて戴く方々の講習会を行いました。

講習会で地方自治、選挙についての講話の後、助言者の方々との「話しあい」を行い、どうしたら公明選挙が徹底できるかについて色々と討議しました。各地区ではこんご「話しあい」の集合があると思われますが皆さんの御協力をおねがいします。

基本選挙人名簿 登載者調査票作成

九月十五日現在で公職選挙の基本となる選挙人名簿の調製は、九月十五日現在で調査いたします。有資格者は登載もれなどのないよう御注意下さい。調査票は近く各世帯に配布することになつています。

世界青年学生平和友好祭に参加して

日高　赳

世界の「平和と友情」を高めることを目的としてソヴェト社会主義共和国連邦の主都モスクワで開かれた世界青年学生平和友好祭に招待の形で参加しました。一五六名の日本代表団（労働、学生、青年団、一般文化、日舞、洋舞、俳優座、芸術、議員連盟、スポーツと各界から選ばれた多採な顔ぶれ）が新潟港を出発したのは七月十九日、日本海を一路ソ連領というより引揚者で有名なナホトカ港に二十日の午后四時入港しました。

十年余の苦しみ、うらみ、そして数々の想い出を残して発つたであろう引揚同胞の姿を想い浮べ、埠頭に出迎えた五千の歓迎人に迎えられた代表団は先づ世界の平和と友情を高めるためには何よりも先ず「原水爆の実験、原水爆兵器の製造禁止」を強く要望して汽車に乗りました。汽車は日本のに比べて大きく、私達は二等寝台車でした。しかし、日本の三等寝台程度のものでその上不便なことは便所と洗面所が一所にあることです。それに列車の窓が全部密閉されたのには閉口しました。その上黒パン主食の食事と十日間風呂に入れずに唯食べる事と寝ること以外に方法のない「十日間の汽車の旅」には全く手を上げました。

ガラス越しに見るシベリヤは広漠たる原野でなる程世界の地表面積の六分の一の領土をもつソ連の大きさに驚きました。駅々で受ける歓迎人の姿、そして車窓から見る農村風景には生活の豊かさは考えられず、ふと「人間の幸福」とは何だろうと不思議に思いました。

物静かなシベリヤ沿線の町々に比べ、ここモスクワの街の大きく美しいこと、そして市民の熱狂的な歓迎に驚かされました。集つた世界各国は百十四ヵ国（これは自治領植民地を入れたものです）の青年代表で会場やホテルはまるで人種の展覧会です。日程は会議は少く集まつた各国間での交流交歓会や見学でした。或夜一五六名全員で「キモノ」姿で出席した時の日本代表団は物すごい人気でした。物価は非常に高くその上品物が粗末で少なく消費物資は極度に制限しているようです。国をあげて重工業に軍備に力を入れているソ連は末恐ろしい国になると感じました。

クレムリン宮殿地下鉄のすばらしさは今でも印象に残つています。とにかくソ連に自由はあるのだろうか？やはりソ連は依然として「謎の国」であるの一言につきる感じでした。（市議）

秋は運動会から

児童生徒たちの楽しい運動会の季節になりました。市内の各小中学校と高校の運動会は次のような日どりになつております。

市内各学校運動会日取

9月29日（日）
細島小学校
財光寺小学校

10月5日（土）
日知屋小学校

10月6日（日）
美々津小学校
塩見小学校
平岩小学校

10月13日（日）
美々津中学校
塩見中学校
富高小学校
幸脇小学校

10月6日（日）
富島高等学校

子供は殺してはならぬ

―多い交通事故―

交通事故は日に日に激増しています。道路で自動車と会つた時は特に注意して安全な場所に避けて下さい。トラックや自動三輪車の荷台に乗ると、それが転落したときなど先ず助かりません。

子供を道路やその近くで遊ばせると自動車に轢き殺される原因になります。

可愛いいお子さんです殺してはなりません

日頃のお子さんの行動について反省され適切なしつけをして下さい。

正しい交通は誰でも知つている筈です。警察官が居ない時でもみんなでよく守りましょう。（日向警察署）

モメのない農家

早植水稲跡地利用のいろいろ

早植水稲の跡地もいろ〳〵利用され、有利に経営されることが早植水稲栽培をより以上のものとすることになります。現在、これらの跡地が、秋馬鈴薯に適用されているのは一部分であるようですが、こんご作付できる作物を二、三参考までに栽培法をお知らせしましょう。

一、えんどう

（品種）
ウスイ、日向平さや
（播種）ウスイ
一〇月一〜二日
平さや
九月一五〜二〇日
（年平均十七度C以上の地）
（種子量）
一升五合（四〜五粒点播）
（栽植）
ウスイ七尺畦三尺条間、二条一、五尺株間、千鳥点播、平莢〜八尺畦、四尺条間二条一尺五寸株間千鳥点播とする。
（肥料）
モト肥タイ肥二〇〇貫硫安一、五貫、過石一、二貫、硫安四貫、追肥〜硫安二貫
（管理）
つる長さ五寸の時二本立平莢は一〜二尺でシン抜き、降霜迄にささ竹等を立てる。
（収穫）
二月下旬。反収二〇〇貫以上。
（注意）
浸水による種子腐敗防止のため高畦、排水路を作り病害虫の防除を行う。

二、結球はくさい

（品種）
長岡交配春蒔極早生
（播種期）一月中旬
（育苗）
ビニール掛。冷床コモ二枚がけ。四寸×四寸育苗
（定植）
二月中〜下旬ビニール、トンネル掛。早生麦防風作物が必要である。
（栽植距離）
五尺畦二条寄植。株間一〜一、二尺
（肥料）
予施石灰N一〇貫基肥堆肥三〇〇貫。農協特二号二〇貫。追肥農協特二号二〇貫。硫安五貫（三回分施）。
（管理）
ビニールは四、五〜六尺ものを使用、三月中旬除去する。
（収穫）四月上〜下旬。

三、その他

この外にきうり、はなやさい、かんらん、つけなる類、ほうれんそう、たまねぎ等が有利に栽培され、又時代の花形、花卉の球根栽培もできます。

県民手帳の追加受付

宮崎県統計協会で毎年発行しております県民手帳の追加申込を市長室統計係で受付けています。御入用の方は係へ申込んで下さい。二四〇頁で優美な上質革製表紙、色々な参考資料も載つていて便利です。代金は一冊百円です。申込締切りは、九月中は待ちますが、なるべく早目に申込んで下さい。

海の守り

海上保安部細島分室設置

油津海上保安部の分室が細島港に開設されることになりました。これは三年来の陳情でありましたが、去る八月二十四日認可となり、根上分室長も九月一日付で着任され、駆特型巡視船または高速内火艇が一カ月交代で細島港に常駐することになりました。事務所は、当分の間細島支所内に置くことになつています。

これによつて台風時の海難救助、底曳網漁業の密漁船の取締り、密貿易の監視などに威力を発揮することになり、関係者から大きな期待をもたれております。

日赤から救助物資

台風第十号による罹災者草場の浅利健さん一家と、去る八月十五日火災で罹災した梶木の黒木慶蔵さん一家に対して、市民課では直ちに救助方を要請しましたところ、日赤宮崎支部から毛布、衣料、学用品、その他など送つてきたので早速罹災家庭に渡されました。

9386人が日脳予防接種

ことしは日本脳炎患者市内で十名発生、本谷区畑浦区、本町区、亀崎区各一名計四名の死亡者をしましたが、これに刺戟れてか、予防接種をお願したところ、実に九千三八十六名の方がうけられ市役所講堂などは、連日員で、アイスキャンデーの自転車が十台以上も並という状況でした。

地区別の被接種者数は次とおりになつています。

（地区）	（員数）
富高	3.156人
細島	1.380
岩脇	1.323
美々津	1.104
財光寺	835
塩見	800
日知屋	788
計	9.386人

西九州水害義捐金

西九州水害義損金募集については、区長さん班長んのお世話と市民の皆様御協力によりまして、集た義捐金は八万二千六百十五円に達しました。これは八月十九日、日赤宮崎支部に委託しました。

なお市役所市民課に特寄託された分は次のとおでした。

○百弐拾円、櫛山市営住仲よし子供会
○三千百五拾円、九州学生連盟日向支部
○四千円、伊藤助一郎
○七百円、狩生圭子
○弐千円、エディガー。

日向市からのおたより

◎NHK（七市便り）
毎週日曜日
午前11時50分から（宮崎 620KC 延岡 1340KC）
宮崎第一放送

◎RMK（ふるさと便り）
毎週土曜日
午前11時から（宮崎 1480KC 延岡 1060KC）
ラジオ宮崎